

皆さんへ、

お元気のことと存じます。今年一年のまとめをお送りします。

<由紀子の2018年>

2017年の末から2018年の初めは、40度近い高熱があったにもかかわらず、毎年の検診以外では自分の体温を測ったことがなく体温計を持っていなかった私は熱があることにすら気が付きませんでした。救急病院に行ったら、40度の熱があり、カズにはよくそれで起きていられるもんだと飽きられました。（確かに、寝込み正月でした。）1週間ほど寝込み、その後も1月末まで咳が止まりませんでした。でも、2月には同僚が遅ればせながら誕生日祝いに有馬温泉で女子会をプレゼントしてくれ、ここから体調が一気によくなりました。3月には拙著が出版されました。3月下旬には、ワシントンDCの学会に出席しましたが、大雪で多くの人が参加できませんでした。DCからシカゴで開催されていたAAALに出席し勉強してきました。4月からはいつもの学期が始まり、7月にはミドルベリーで調査をしました。ですが、戻ってきたときには、広島は豪雨の被害で、電車やバスが動かず、飛行機から自宅に戻ることも難しい状態でした。（電車は9



月末にやっと復旧しました。）8月にはベニスで学会に出席し、元教え子の小口さんと須摩さんとフィレンツェとピサに行きました。



その後は一人でフィレンツェとミラノで美術館巡りをし、久しぶりにアートに浸りました。9月からは、またいつも通りの毎日ですが、10月初めには同僚の渡部先生と一緒に1泊2日で山口の湯田温泉に行きました。とろとろのとてもいい温泉で、何気に入ったフレンチビストロ

も素晴らしかったです。日本のいいところは、こういう小旅行が近場でできる点です。11月には、大学のゼミの同窓会がありました。今年は幹事年で、私は連絡係と受付をしました。今年は思いのほかたくさんの方が来てくださいましたし、友人の企画もよかったのでとても楽しい同窓会になりました。ずっと会えなかった同級生に会えたのも大きなプラスで、忙しかったけれど素晴らしい思い出ができました。T昨年度から退官に向けて準備を始めたこともあり、今年は学生の論文指導に追われ、3月、5月、9月に3名が終了したほか、来年の2月、3月と2名の博士が巣立っていく予定です。これで少し、本来の自分の研究や執筆活動に戻れると期待しています。年末には、ベトナムで世界遺産巡りをして、帰国したら近場の温泉に行って、気分転換をしてきます。

<一味の2018年>



今年は二月に林家二楽師匠と二人で紙切り講演・公演旅をしました。パデュー大、ノートルダム大、アーラム大、ケニヨン大・デニソン大合同、オーバリン大と10日間で5校を回りました。充実した活動ができましたが、最後は二人ともさすがに疲れていました。（二楽師匠、お疲れ様でした。）三月にはDCへAATJの学会に行きました。が、記憶に残っているのは、大雪と到着直後のホテルロビーでの深夜までの飲み会、そして、挙げ句の果てに、部屋のトイレを壊すというハプニングの三つでした。（ちょっと、足が滑っただけです。）春学期は2回目の日本の食文化の授業を担当し、前回よりも違った要素を入れることができ、楽しかったです。五月に帰国した時には、陸前高田を娘（みたいな）二人（佐藤さんと浜田さん）と訪れ、震災当時からおつきあいのあった菅野さんご一家の新居に泊まることができました。3.11で家を流された

菅野さんと「新しい家ができたら、泊めてもらって、一杯飲む」ことを目標にしていたので、それが実現しました。大きく変わった部分と、変わっていない部分が混在する高田でした。東京では、同級生も平日ゴルフができる身分になってきて、何回か芝刈り+反省会を楽しみました。

夏はミドルベリー日本語学校の校長としての最後の年でした。平常心でやるつもりでしたが、なかなかそうもいかず周りから色々とお祝いをしてもらいました。今年も学生にも教員にも恵まれ、本当にトラブルなしで、最後のセッションを終えることができ、皆さんに感謝です。また、バスケットボール関係の友人が訪れた夏でもありました。高校・大学の後輩の飯野家は二年続けての来訪、大学時代の同級生の福田さんは奥さんと初ミドルベリー。福田さんも退職時には中学校の校長だったので、日本語学校を見るのは楽しかったようです。来年からは夏の時間の使い方が大きく変わるので、楽しみにしています。長年、一緒に活動してくださった落語の師匠方との活動も形を変えて続けていく所存です。



パデューに戻っての秋学期は通常勤務に戻り、十一月にはかねてより親交があった広島の被爆者の笹森恵子さん（86歳）を迎え、被爆者証言を行いました。このような話を初めて聞いたという学生がほとんどで、彼ら書いた笹森さんへのお礼状からはそのインパクトがとても大きかったことが分かりました。世の中の不穏要素が多くなっている中、この活動をできる限りお手伝いしていこうという気持ちを新たにしました。幸い笹森さんはお元気で、ご本人も続けることへ強い意志と使命感を持っていらっしゃいます。

最後に、2020年の東京オリンピックに何らかの形で関わりたいと思い、ボランティアに応募しました。どのような展開になるか楽しみにしています。来月は半ばに帰国し、初めてのベトナムに行ってきます。

皆さんのご健康、ご多幸をお祈りします。よいお年をお迎えください。

一味 & 由紀子

ミータロー：今年で19歳。足が弱くなりましたが、元気です。シカゴのメグ姉さんには今年もすっかり世話になりました。

チビタン：アタシは今年も超快調です。今年の医療費はワクチンだけでした。



チビ&ミータロー

頌春 2019
